

蝦夷地から北海道のころ —作家・子母澤寛のまなざし—



150年前、幕末から明治へとかわるころ、
子母澤寛(本名・梅谷松太郎)の祖父で幕府の御家人だった梅谷十次郎は、
榎本武揚の軍に加わって北海道にやってきた。
箱館で敗れ、札幌、そして厚田へ。
歴史の激動の波にさらされたこの祖父は、
作家・子母澤寛にとってどのような存在だったのか。
丹念な資料の読み込みにより
北海道史を掘り起こしてきた合田一道氏に
お話しいたします。

4月21日(土)

14:00~15:30

当館地階講堂
無料

*要申込・電話で
4月6日(金)9:00より受付
先着順、定員80名

*道民カレッジ【指定講座】
ほっかいどう学コース 1単位

講師：合田一道



合田 一道(ごうだ いちどう、1934年 -)
ノンフィクション作家。北海道上砂川町生まれ。北海道新聞記者として道内各地を回った後、北海道文化放送に
出向し、編成部長などを務める。北海道新聞に復帰後は編集委員として主に日曜版を担当。在職中からノンフィク
ション作品を発表し、退職後は主に歴史物を手がける。『定山坊行方不明の謎』で第1回北海道ノンフィクション賞(月刊
クオリティ主催)大賞受賞。
著書に『龍馬、蝦夷地を開きたく』、『人間登場～北の歴史を彩る』、『威臨丸、栄光と悲劇の5000日』、『日本史の現
場検証』など多数。札幌市在住。

展覧会のご案内

特別展「没後50年 子母澤寛 無頼三代 蝦夷の夢」 2018年4月20日(金)~6月24日(日)
日本を代表する時代小説家で、『新選組始末記』、『勝海舟』、『座頭市物語』の生みの親・子母澤寛(1892~1968年)の全業績を紹介。
開館時間:午前9時30分~午後5時 *展示室入場は4時30分まで 月曜休館 ただし4月30日(月・祝)は開館し5月1日(火)は休館
観覧料 一般700(560)円 高大生および65歳以上の方450(360)円 小中生300(240)円 ()内は10名以上の団体料金

中島公園

北海道立文学館

〒064-0931 札幌市中央区中島公園1-4

TEL 011-511-7655 <http://www.h-bungaku.or.jp/>

●地下鉄南北線中島公園駅(出口③)または幌平橋駅(出口①)
下車徒歩6分 ●市電「中島公園通」停留所下車徒歩10分
●JRバス・中央バス「中島公園入り口」より徒歩4分